



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柿本 敏男

問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	97,561	1.9	2,395	△17.4	2,564	△10.8	6,609	—
25年3月期第2四半期	95,711	0.2	2,899	△12.8	2,874	△16.7	405	△57.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 17,559百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 241百万円 (△62.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	32.58	32.58
25年3月期第2四半期	1.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	233,157	138,609	49.3
25年3月期	207,586	114,318	48.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 114,914百万円 25年3月期 100,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	9.00	9.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	209,000	4.0	9,300	1.8	9,600	3.3	9,700	106.9	47.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	217,699,743 株	25年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	14,850,750 株	25年3月期	14,833,716 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	202,857,741 株	25年3月期2Q	204,617,043 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は11月6日(水)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

○ 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株高による消費者心理の改善や、輸出企業を中心とする企業業績の改善に加え、設備投資に持ち直しの動きがみられ、徐々に回復基調を取り戻しつつあります。一方で、新興国経済の減速や、円安による輸入原材料の価格上昇に起因する一般消費財の値上がり、消費税増税前後の需要動向などの懸念材料もあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現へ向け、「国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する」ことを基本方針とする3カ年の中期経営計画「TaKaRaグループ中期経営計画2013」のもと、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を構築することで、更なるグループ企業価値の向上を目指しております。

国内酒類事業においては、多様化する消費者嗜好に対応したオリジナリティある新製品の開発やブランド育成に注力し、また調味料・酒精事業においても顧客企業に対し、差異化されたユーザーニーズに応える商品提案を行うことにより、売上高の拡大を図っております。

海外酒類事業、日本食材卸事業では、両事業を通じて日本食文化を世界に広げることによって事業成長を加速させることを目指しております。なお、本年9月、英国で日本食材卸事業を展開するTazaki Foods Limitedの経営権を取得いたしました。

バイオ事業では、遺伝子工学研究事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、円安による海外子会社の売上増加もあり前年同期比101.9%の97,561百万円と若干の増収となりました。また、売上高の増加により、売上総利益も前年同期比101.1%の36,953百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、人件費などの増加により前年同期比102.7%の34,558百万円と増加いたしましたので、営業利益は前年同期比82.6%の2,395百万円と減益となりました。営業外損益は、タカラバイオ株式会社の公募による新株発行に伴う株式交付費が発生しましたが、前年同期の為替差損が為替差益に転じたこと、社債発行費がなくなったことなどにより若干改善いたしましたものの、経常利益も前年同期比89.2%の2,564百万円と減益となりました。

特別損益は、タカラバイオ株式会社の公募による新株発行に合わせた同社株式の一部売却により特別利益を計上したこと、前年同期の投資有価証券評価損がなくなったことなどにより、前年同期に比べ大幅に改善いたしましたので、税金等調整前四半期純利益は前年同期比736.6%の11,839百万円となり、四半期純利益は同1,629.7%の6,609百万円とともに大幅な増益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

[宝酒造グループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比100.9%の85,712百万円と若干の増収となりました。

品種別には、主力の焼酎が、飲用甲類焼酎を中心に全般に低調で、焼酎全体では大幅な減収となりました。一方、スパークリング清酒<松竹梅白壁蔵「霽(みお)」>の販売ルート拡大による売上増加により清酒が増収となり、「焼酎ハイボール」が引き続き好調なソフトアルコール飲料も、新製品の寄与もあり増収となりました。また海外子会社のウイスキーが円安による影響も含め好調に推移いたしました。焼酎の減少の影響が大きく、酒類全体では減収となりました。一方、その他に含まれる日本食材卸事業が、外貨でも売上を伸ばしたうえ、円安による換算の影響もあり大幅な増収となりました。

売上原価は、原材料の価格上昇や、商品構成の変化による原価率の上昇により、前年同期比101.8%の55,239百万円と増加したため、売上総利益は前年同期比99.5%の30,473百万円となりました。販売費及び一般管理費も運送費や人件費等の増加により、前年同期比101.4%の29,009百万円となったため、セグメント営業利益は前年同期比72.7%の1,463百万円と減益となりました。

[タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子工学研究事業における研究用試薬が前年同期を上回り、遺伝子医療事業も好調に推移したこと等により、前年同期比114.0%の10,277百万円となりました。売上原価は、品目別の原価率の違いにより、前年同期比118.0%の4,673百万円となりましたので、売上総利益は、前年同期比110.9%の5,603百万円となりました。販売費及び一般管理費は、人件費及び研究開発費等の増加により、前年同期比111.2%の5,148百万円となりましたので、セグメント営業利益は前年同期比107.3%の454百万円と増益となりました。

[宝ヘルスケア]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、茶飲料PB供給事業の終了により前年同期比59.4%の674百万円と大幅な減収となりました。なお、健康食品では主力のフコイダン関連製品が増収となったほか、その後も順調に推移したため、茶飲料PB供給事業を除いた健康食品等での比較では、前年同期比110.8%と増収となっております。また、茶飲料PB供給事業の終了に伴い売上総利益も減少し、販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、セグメント営業損益は前年同期並みの4百万円の営業損失となりました。

[その他]

報告セグメント以外の「その他」のセグメントの売上高は前年同期比96.1%の3,477百万円となりましたが、営業利益は前年同期比194.0%の103百万円となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前年同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ			
焼酎	35,886	33,128	92.3
清酒	7,903	8,368	105.9
ソフトアルコール飲料	13,394	14,467	108.0
その他酒類	5,415	5,986	110.5
酒類計	62,599	61,950	99.0
本みりん	6,928	6,811	98.3
その他調味料	3,676	3,940	107.2
調味料計	10,605	10,751	101.4
原料用アルコール等	3,223	3,184	98.8
物流	5,385	5,692	105.7
その他	3,094	4,131	133.5
計	84,909	85,712	100.9
タカラバイオグループ	9,013	10,277	114.0
宝ヘルスケア	1,135	674	59.4
その他	3,617	3,477	96.1
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△2,964	△2,579	—
合計	95,711	97,561	101.9

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は233,157百万円となり、前連結会計年度末に比べ25,571百万円増加いたしました。流動資産は、タカラバイオ株式会社の公募による新株発行や同社株式の売り出しによる収入の一時的運用としての有価証券の増加や、たな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ13,792百万円増加し、147,077百万円となりました。固定資産では、子会社の新規取得などに伴うのれんの増加や、新株発行による収入の運用としての投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11,778百万円増加し、86,079百万円となりました。

負債合計は94,547百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,279百万円の増加となりました。1年内償還予定の社債の償還がありましたが、関係会社株式売却益の発生に伴う未払法人税等の増加や流動負債のその他の増加などがありました。

純資産は、タカラバイオ株式会社の公募による新株発行に伴う持分変動差額や、関係会社株式売却益などで利益剰余金が増加し、少数株主持分も増加したため、前連結会計年度末に比べ24,291百万円増加し、138,609百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などはありましたものの、たな卸資産の増加や前期末が休日であったことによる未払酒税の減少、法人税の支払等で1,887百万円の支出となり、前年同期間に比べ3,202百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、タカラバイオ株式の売却による収入がありましたが、有形固定資産の取得による支出や子会社株式の取得による支出、定期預金の預入による支出などがありましたので、1,989百万円の支出となり、前年同期間に比べ604百万円の支出減少にとどまりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、タカラバイオ株式会社の公募による新株発行に伴う少数株主からの払込みによる収入がありましたが、社債の償還による支出、配当金の支払等がありましたものの前年同期間に比べ3,151百万円多い、4,288百万円の収入となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ1,276百万円増加し、36,564百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、宝酒造グループは海外子会社の好調、円安の影響もあり期初予想を上回る見込みであります。タカラバイオグループも円安の影響もあり期初予想を上回る見込みであり、グループ全体では期初予想を27億円上回る2,090億円を見込んでおります。

営業利益、経常利益につきましては、当第2四半期連結累計期間では期初予想を若干上回って進捗しておりますが、宝酒造グループの国内酒類事業で下半期も引き続き厳しい状況が見込まれ、グループ全体の通期見込みは期初予想を若干上回る、それぞれ93億円、96億円を見込んでおります。

当期純利益につきましては関係会社株式売却益がありましたので、通期でも期初予想を48億円上回る97億円を見込んでおります。

平成26年3月期の連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

単位：百万円（百万円未満切捨）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成25年5月9日発表)	206,300	9,200	9,400	4,900	24円15銭
今回修正予想 (B)	209,000	9,300	9,600	9,700	47円82銭
増減額 (B-A)	2,700	100	200	4,800	-
増減率 (%)	1.3	1.1	2.1	98.0	-
(ご参考) 平成25年3月期 実績	200,989	9,133	9,296	4,687	23円01銭

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,789	38,213
受取手形及び売掛金	50,630	50,103
有価証券	15,260	23,946
商品及び製品	21,773	25,287
仕掛品	1,090	1,580
原材料及び貯蔵品	2,841	2,982
その他	4,982	5,051
貸倒引当金	△82	△89
流動資産合計	133,285	147,077
固定資産		
有形固定資産	42,639	44,056
無形固定資産		
のれん	3,767	6,388
その他	1,659	1,794
無形固定資産合計	5,426	8,183
投資その他の資産		
投資有価証券	21,080	28,521
その他	5,364	5,522
貸倒引当金	△209	△204
投資その他の資産合計	26,235	33,839
固定資産合計	74,301	86,079
資産合計	207,586	233,157
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,028	13,582
短期借入金	5,006	5,741
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払酒税	9,907	7,885
未払費用	4,698	3,955
未払法人税等	1,996	4,251
賞与引当金	1,980	2,327
その他の引当金	1,753	1,782
その他	6,023	10,410
流動負債合計	49,394	49,936
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	417	294
退職給付引当金	8,845	8,693
長期預り金	5,626	5,616
その他	3,983	5,006
固定負債合計	43,873	44,611
負債合計	93,268	94,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,195	3,195
利益剰余金	90,437	101,068
自己株式	△8,355	△8,371
株主資本合計	98,503	109,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,599	6,114
繰延ヘッジ損益	16	78
為替換算調整勘定	△3,079	△396
その他の包括利益累計額合計	1,537	5,796
少数株主持分	14,277	23,694
純資産合計	114,318	138,609
負債純資産合計	207,586	233,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	95,711	97,561
売上原価	59,163	60,608
売上総利益	36,548	36,953
販売費及び一般管理費	33,648	34,558
営業利益	2,899	2,395
営業外収益		
受取配当金	195	198
その他	258	309
営業外収益合計	453	508
営業外費用		
支払利息	278	223
その他	200	115
営業外費用合計	478	339
経常利益	2,874	2,564
特別利益		
関係会社株式売却益	—	9,261
その他	133	82
特別利益合計	133	9,344
特別損失		
固定資産除売却損	111	43
役員退職慰労金	—	24
その他	1,289	0
特別損失合計	1,400	68
税金等調整前四半期純利益	1,607	11,839
法人税、住民税及び事業税	1,163	4,937
法人税等調整額	△120	167
法人税等合計	1,042	5,104
少数株主損益調整前四半期純利益	564	6,734
少数株主利益	158	125
四半期純利益	405	6,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	564	6,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△657	1,514
繰延ヘッジ損益	△9	64
為替換算調整勘定	337	3,149
持分法適用会社に対する持分相当額	6	249
持分変動差額	—	5,847
その他の包括利益合計	△323	10,825
四半期包括利益	241	17,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1	16,715
少数株主に係る四半期包括利益	242	844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,607	11,839
減価償却費	2,052	2,028
受取利息及び受取配当金	△281	△272
支払利息	278	223
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△9,261
売上債権の増減額(△は増加)	279	1,560
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,199	△2,907
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,616	122
未払酒税の増減額(△は減少)	1,069	△2,023
その他	1,451	△773
小計	3,640	536
利息及び配当金の受取額	329	311
利息の支払額	△245	△242
法人税等の支払額	△2,410	△2,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,315	△1,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,825	△18,363
定期預金の払戻による収入	14,202	10,935
有価証券の取得による支出	△571	△1,695
有価証券の売却及び償還による収入	612	701
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,021	△3,085
関係会社株式の売却による収入	—	12,241
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△48	△2,666
その他	57	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,594	△1,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	9,923	—
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
少数株主からの払込みによる収入	—	11,420
配当金の支払額	△1,847	△1,823
その他	△1,938	△308
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,137	4,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△62	1,276
現金及び現金同等物の期首残高	29,165	35,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,102	36,564

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,457	8,708	1,133	94,299	1,193	95,492	219	95,711
セグメント間の内部 売上高又は振替高	451	305	2	759	2,424	3,183	△3,183	—
計	84,909	9,013	1,135	95,058	3,617	98,676	△2,964	95,711
セグメント利益又は損 失(△)	2,014	423	△3	2,434	53	2,488	411	2,899

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去30百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益380百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,540	9,986	673	96,200	1,147	97,347	213	97,561
セグメント間の内部 売上高又は振替高	172	290	1	463	2,329	2,793	△2,793	—
計	85,712	10,277	674	96,663	3,477	100,141	△2,579	97,561
セグメント利益又は損 失(△)	1,463	454	△4	1,913	103	2,017	377	2,395

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、印刷事業などの機能会社グループであります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失は、セグメント間取引消去39百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益338百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「宝酒造グループ」セグメントにおいて、新たに連結子会社としたT.Tazaki & Company Limitedの株式取得等に伴い、当第2四半期連結累計期間において、のれんが2,506百万円増加しております。